

IV 地域アクションプランからの自立プラン

地域アクションプランとして目指した姿が実現し、今後においてさらなる取り組みの拡充がないものや、自ら課題解決できる力が備わった取り組みなど、地域アクションプランとしてのサポートを必要としなくなったプランについて、「地域アクションプランからの自立プラン」として整理します。

なお、自立プランに位置付けたプランについては、産業振興推進地域本部において、定期的（年に一回程度）な状況把握を行い、新たな事業展開があり、サポートが必要な場合は、再度地域アクションプランに位置付けを行います。

| 地域 | 項目 | 事業の概要 | 事業主体 | これまでの取り組みと成果 |
|----|----------------------------------|--|-------------------|---|
| 安芸 | 安芸市のシラス 漁業者所得の向上 《安芸市》 | 平成25年に設立したシラス加工所によるシラス加工処理能力の向上に対応した漁業体制の強化と、シラスの水揚げ量の増加、及び漁家所得の向上を図る。 | ・安芸漁協 ・(株)安芸水産 | 取り組み期間：H21～R元 ・企業、漁協、漁業者による加工処理能力向上に向けた協議(H23) ・シラス加工施設完成(H24) ・継続的な安芸市場でのシラスの購入(株)安芸水産(H25～) ・冷凍シラスの商品化に向けた冷凍機器の購入(株)安芸水産(H29) ◆水揚げ金額 189,231千円(H23) →398,123千円(H30.1月～12月) ◆シラス漁獲量 393t(H26.1月～12月) →559.3t(H30.1月～12月) ◆雇用の創出 6名(9名(H25)→15名(H30)) |

| 地域 | 項目 | 事業の概要 | 事業主体 | これまでの取り組みと成果 |
|-----|--|---|-----------------------------------|---|
| 物部川 | 大学生による地域応援団(サポーター)づくり 《物部川流域全域》 | 地域と大学等の学生の交流機会を増やし、相互の理解を深めることにより、物部川地域をサポートする『地域応援団(サポーター)』を作っていく。 | ・人と地域の研究所 ・学生グループ | 取り組み期間:H21~27 ・高知工科大学、NPO、地元、市など関係機関との連携協議(H21) ・NPO法人(人と地域の研究所)がふるさとインターンシップ事業(県から委託)を実施(H21~23) ・(一社)いなかパイプが重点分野雇用創造地域暮らし体験実施事業(田舎ビジネスマネージャー育成プログラム「マネチャレ!」(県から委託))を実施(H24) ・学生グループと地域団体等のマッチングを行い、交流活動を実施(H24~27) ◆交流した学生数 19名(H23)→278名(H27.12月末時点) |
| | 加工品販売による夜須地域の活性化 《香南市》 | 地場産品を活かした加工品開発・販売を行い、生産農家の所得向上につなげる。 | ・協同組合やすらぎ市 | 取り組み期間:H24~R元 ・地元加工業者と連携した商品開発(H24~27) ・加工組織(製造部)の結成及び産振補助金を活用した加工場の整備(H25) ・民間情報誌での取り組み紹介やミニパンフレット、SNSなどによる商品情報等の発信(H26~) ・新商品の開発・販売及び既存商品の改善や新たなアイテムの追加(H27~) ◆主力商品の定着・充実による経営の安定化 7,000万円(H22)→9,700万円(H30) ◆雇用の創出 5名(1名(H25)→6名(H30)) |
| | 南国市の農園レストランによる地域食材の消費拡大 《南国市》 | 地域の農家所得の向上を図るため、地元食材をフル活用したオリジナル料理を堪能できるレストランとベーカリーを運営し、地元食材の消費を拡大するとともに新たな魅力を発信する。 | ・(株)ナイフアンドフォークカンパニー(農園レストラン トリトン) | 取り組み期間:H26~R3 ・産業振興推進総合支援事業費補助金を活用し、レストランとベーカリーの整備、オープン(H27) ・南国市内の生産者(株)南国スタイル等からの食材仕入(H27~) ・地元食材を使ったメニュー開発・提供(H27~) ◆売上高 0万円(H26)→1億3,086万円(R2) ◆食材の地産地消率(県内) 0%(H26)→85%(R2) |

| 地域 | 項目 | 事業の概要 | 事業主体 | これまでの取り組みと成果 |
|-----|--|---|--------------------------------|---|
| 高知市 | 中心商店街での アンテナショップ の運営 | 中心商店街で開設した常設のアンテナショップ「てんこす」の運営により、地域産品の販売を促進し、地域の生産者等の収入の確保につなげるとともに、各種の情報提供により、来街者の利便性の向上や商店街の売上げの増加を図る。 | ・(株)まこと | 取り組み期間：H21～27 <ul style="list-style-type: none"> ・アンテナショップ「てんこす」の整備(H21) ・地域産品の掘り起こしと販売(H21～27) ・県外や大型客船入港時の出張販売(H23～27) ・NPOと連携したタウンモビリティの実施(H25～27) ◆加工品販売額 89,181千円(H22)→146,589千円(H26) ◆取扱いアイテム数(累計) 2,136品目(H22)→4,972品目(H26) |
| | 異業種間のコラボレーションによる 新たな商品・サービスの創出 | 農林水産事業者と食品加工事業者など分野の異なる事業者の連携による新たな加工商品等開発の取り組みを促進するとともに、商品のブランド化と販路開拓の支援を行う。 | ・コラボネットワーク高知事務局 ・高知市 | 取り組み期間：H28～R元 <ul style="list-style-type: none"> ・「にっぽんの宝物 JAPANグランプリ」参加(H28～) ・農商工連携セミナー開催(H28～) ・「にっぽんの宝物 世界大会」参加(H28～) ・にっぽんの宝物コラボグランプリ高知大会開催(H28～) ◆農商工連携セミナー受講者数 0事業者(H27)→延べ238事業者(H30) ◆コラボグランプリエントリー商品数 10アイテム(H27)→31アイテム(H30) |
| 嶺北 | 濁酒等を活用した 地域資源との連携による地域の 活性化 《大豊町、本山町》 | 地域の特産品となる濁酒等の製造・販売と地域の観光資源との連携によって、交流人口の拡大を図り、地域の活性化につなげる。 | ・生産者 ・大豊町濁酒協議会 ・本山町濁酒協議会 | 取り組み期間：H21～27 <ul style="list-style-type: none"> ・濁酒製造免許を取得し、濁酒製造を開始(H22～24) H22.5月 大豊町 H23.4月 本山町(1件目) H24.12月 本山町(2件目) ・ステップアップ事業の導入による販促資材等の導入 H22 大豊町濁酒協議会 H24 本山町濁酒協議会 ・販促活動(延べ24日(H26)) ◆生産者数 1名(H22)→3名(H27) |

| 地域 | 項目 | 事業の概要 | 事業主体 | これまでの取り組みと成果 |
|-----|------------------------------------|--|----------|--|
| 嶺北 | 滞在型市民農園の推進による地域の活性化 《本山町》 | 滞在型市民農園を整備し、都市部の住民の農業や田舎暮らしへの関心を高めて地域への移住につなげ、産業の活性化、雇用の創出、交流人口の拡大、農業の担い手づくり等による地域の活性化を図る。 | ・本山町 | <p>取り組み期間：H23～27</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備、運営を担う「本山町市民農園整備促進協議会」の設立（H23.12月） ・施設整備（H24～H25.4月）、運営開始（H25.6月） ・パンフレットの作成・配布、ウェブ、移住相談会等における滞在型市民農園のPR（H24～） ・農機具の使い方講習会、道づくり等の集落活動、イベント等による利用者と住民の交流（H25～） ・農業体験、フットパス等のイベント開催による地域外との交流（H25～） <p>◆本山町への移住者数（H24～H27.11月累計）</p> <p>48人（H27目標30人の160%）</p> <p>◆滞在型市民農園の稼働率向上</p> <p>40%（H27.3月末現在）</p> <p>→80%（H27.11月末現在）</p> |
| 仁淀川 | 地元企業の活性化（芋菓子加工販売拡大事業） 《日高村》 | 高知県産のさつま芋を活用した新製品の開発などによる生産販売の拡大を推進する。 | ・渋谷食品(株) | <p>取り組み期間：H21～27</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興推進総合支援事業費補助金を活用し菓子製造工場を整備（H21） ・商品開発（H21～） ・「芋屋金次郎松山店」を出店（H23） ・「芋屋金次郎日本橋店」を出店（H25） ・「芋屋金次郎道後店」を出店（H27） <p>◆芋屋金次郎部門の売上高</p> <p>2.0億円（H21）→7.3億円（H26）</p> <p>◆大月町芋づくり等産地化育成協議会からのさつま芋仕入量</p> <p>100t（H22）→400t（H26）</p> |

| 地域 | 項目 | 事業の概要 | 事業主体 | これまでの取り組みと成果 |
|-----|---|--|----------|---|
| 仁淀川 | 柑橘類等地域の農産物を活用した加工品の生産と販売拡大 《越知町》 | 越知町をはじめとした地域の柑橘類等の農産物を活用した新たな加工品の開発や生産と販売の拡大をさらに進めるとともに、農地や生産者情報を行政と共有することで原材料の確保を図ることにより、雇用の拡大と地域農業の維持発展を目指す。 | ・(株)岡林農園 | 取り組み期間：H27～R元 ・産振補助金(ステップアップ事業)を活用した経営分析の実施(H27) ・ディスカバー農山漁村の宝に選定(H28) ・地域おこし協力隊との特産品開発(H28) ・業務用及び海外部門の販売拡大に向けた展開(H28～) ◆岡林農園の販売額 1.4億円(H26)→1.86億円(H30) |
| | ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の生産・販売促進 《日高村》 | 木質系のネコ砂製造事業に取り組む県内企業を日高村に誘致し、村内での新たな雇用を創出する。また、原材料の木材チップや茶葉を仁淀川流域で調達することで、地元生産者への経済効果の波及を目指す。 | ・(株)エスエス | 取り組み期間：H22～R元 ・産振補助金を活用した製造施設の整備(H22) ・OEM先であるアース・バイオケミカル(株)から要望のあった原料・製品をストックする倉庫(村所有)の供用開始(H26) ◆ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の販売額 4,500千円(H23)→70,229千円(H30) ◆雇用の創出 14名(1名(H22)→15名(H30)) |
| 高幡 | 四万十町のこだわり野菜を使った加工品の生産販売による地域活性化 《四万十町》 | 四万十町の農業や化学肥料を使わずこだわりを持って栽培した野菜を利用して、価値を最大限に活用した加工品の開発と販売拡大を行い、農家所得の向上と地域雇用の確保、農業の担い手づくりなど地域の活性化を図る。 | ・桐島畑 | 取り組み期間：H22～27 ・加工施設の整備(H22) ・新商品開発と販売(H22～27) ・農業研究生の受け入れ(H22～27) ◆加工品販売額 6,558千円(H21)→30,000千円(H27見込) ◆雇用の創出 9名(4名(H22)→13名(H27)) ◆農業研修修了生の地域への定住 5名 |

| 地域 | 項目 | 事業の概要 | 事業主体 | これまでの取り組みと成果 |
|----|---------------------------------------|--|-------------------------------|--|
| 高幡 | JA土佐くろしおが担う地域農業の活性化 《須崎市、中土佐町、津野町》 | JA出資農業生産法人を設立し、農作業受託等による地域の農業者の作業軽減及び農地の維持等を図る。また、「くろしお市」「みのり市」の2つの直販所を移転統合、拡充して、地域農産物や地元食材を活かした惣菜、加工品の販売を行い、農業者の所得向上を目指す。 | ・(株)土佐くろしお村村営みのり ・JA土佐くろしお | 取り組み期間：H26～R元 ・JA出資農業生産法人の設立及び施設・機械等の整備(H26～) ・農産物直販所の整備(H26～28) ・(株)土佐くろしお村村営みのりの設立(H27) ・産振補助金を活用した産直市「とさっ子広場」の施設整備(H27) ・「とさっ子広場」オープン(H28) ・複合経営拠点推進交付金を活用した田植機や防除機等の導入(H30) ◆全作業受託面積 5ha(H27)→18ha(R元) ◆一部作業受託面積 28ha(H27)→32ha(H30) ◆販売額 77,185千円(H26)→331,770千円(H30) |
| | みどり市を核とした「地消地産」の推進 《四万十町》 | みどり市の「産直コーナー」での野菜等の農産物の品揃えの強化や加工品の開発、さらに「手づくりキッチン」での弁当や惣菜の充実で販売額の増加を図り、地消地産による地域の農業者の所得向上を目指す。 | ・JA 高知県(高西地区) | 取り組み期間：H21～R元 ・農産物の安定供給(H21～) ・「産直コーナー」での農産物の品揃えや加工品の開発(H21～) ・産振補助金を活用して「産直コーナー」に「手づくりキッチン」を併設(H25) ・「手づくりキッチン」での商品の充実(H25～) ◆「産直コーナー」の販売額 159百万円(H22)→238百万円(H30) ※肉類の販売額含む ◆「手づくりキッチン」の販売額 30,047千円(H26)→42,310千円(H30) ◆みどり市の販売部会員数(生産者) 389名(H26)→403名(H30) |

| 地域 | 項目 | 事業の概要 | 事業主体 | これまでの取り組みと成果 |
|----|---|---|--------------------------|--|
| 高幡 | 滞在型市民農園等を活用した四万十町の移住を受け入れやすい風土づくり 《四万十町》 | 滞在型市民農園の機能強化やお試し滞在施設の整備などを行い、窪川、大正、十和の3地域ごとに地域との交流を含めた受入体制を整えるとともに、移住希望者等のニーズに沿った支援策を実施し、四万十町全体で移住に繋がりのしやすい風土づくりを目指す。 | ・四万十町 ・営農支援センター四万十(株) | 取り組み期間: H21～R元 <ul style="list-style-type: none"> ・滞在型市民農園「クラインガルテン四万十」の整備及び運営(H21～) ・役場への移住相談窓口の設置(H23) ・滞在型施設7棟増設とコミュニティ施設の整備(H24) ・お試し滞在施設の整備(H24・28:3施設) ・中間管理住宅の整備(H26～29:22件) ・移住フェア・相談会等への参加(H27～) ・移住支援住宅の整備(H28・29:5室) ・東京オフィスの開設(H30) ◆施設稼働率 滞在型市民農園 100%(H23)→86.8%(H30) ◆移住者数 17組 27人(H26)→132組 177人(H30末) ※四万十町窓口を通して移住された方 |
| 幡多 | レストランチェーンと連携した地域水産物の流通・加工体制の推進事業 《宿毛市》 | 民間事業者による地域水産物の利用促進と消費拡大を目指す。 | ・(株)ピーアサーティ | 取り組み期間: H22～29 <ul style="list-style-type: none"> ・加工施設を整備(H22) ・自社レストランでイベント等を開催(H22～) ・系列店「宿毛にく工房」開設(H28) ・活魚の取り扱い開始(H29) ◆売上高 1.5億円(H23)→3.7億円(H28) ◆雇用の創出 2名(18名(H22)→20名(H28)) (このほか、宿毛にく工房で9名をパート雇用) |

| 地域 | 項目 | 事業の概要 | 事業主体 | これまでの取り組みと成果 |
|----|---------------------------------|--|-----------------|--|
| 幡多 | 苺を核とした6次産業化確立事業 《大月町》 | 大月町の新しい加工品として注目されている苺氷りの販売拡大および新商品開発により、苺を大月町の新しい特産品として育成し、生産から加工、販売までの一貫体制の構築を目指す。 | 農業生産法人 苺氷り本舗(株) | 取り組み期間：H22～29 ・新商品に係るチラシ・パンフレット等の作成、試食会の開催、ホームページリニューアル(H22) ・新商品の開発(H22～) ・販路開拓及び販売促進(H22～) ・OEM商品の製造(H22～) ◆売上高 44,090千円(H22)→64,737千円(H28) ◆雇用の創出 3名(5名(H22)→8名(H28)) ◆取引先数 60件(H22)→160件(H29) |
| | 「四万十の家」と地域産ヒノキの販売推進事業 《四万十市》 | 平成22年度に建築したモデルハウス「四万十の家」をPRし、四万十ヒノキを利用した住宅建築を促進するとともに、四万十ヒノキのブランド化を図ることにより、地域内外での販売を促進し、地域経済の活性化を図る。 | ・四万十市 | 取り組み期間：H21～R元 ・モデルハウス建設(H22) ・モデルハウス「四万十の家」利用開始(H23) ・市産材補助事業(H23～) ・地域産ヒノキのブランド化に向けた4市町村(四万十市、三原村、四万十町、中土佐)推進協議会の設立(H23) ・ロゴマーク入りステッカーやジャンパーの作成(H28～) ◆「四万十の家」着工戸数 23戸(H27)→30戸(H30) ◆ロゴマーク登録事業者数：14事業者(H28～) |

| 地域 | 項目 | 事業の概要 | 事業主体 | これまでの取り組みと成果 |
|----|--|--|-----------------|---|
| 幡多 | すくも湾漁協と民間事業者の連携による水産物の加工・販売事業 《宿毛市・大月町》 | 漁協・民間会社の連携により漁協市場付近に整備した加工施設を核として、地元水産物の付加価値向上、地産地消・外商を進めることで、雇用創出につなげていく。 | ・すくも湾漁業 協同組合 | <p>取り組み期間：H22～R元</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工施設整備(H22) ・加工品の製造、出荷開始(H23) ・真空包装機、ヘッドカッターの導入(H26) ・フィレマシンの導入(H27) ・通年出荷に向けた試験出荷(H28～) ・関係者と協同での身割れ防止試験及び落下試験の実施(H29) ・県版HACCP第3ステージ認証取得(H30) ・関係者と協同での電気タモ(電撃による魚類沈静化装置)デモ機導入試験の実施(H30) <p>◆売上高 1.04億円(H26)→1.24億円(H30)</p> <p>◆加工量(原魚ベース) 191.4t(H26)→551t(H30)</p> <p>◆雇用の創出 4名(7名(H27)→11名(H30))</p> |
| | 宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業 《宿毛市》 | ブリやカツオ等、宿毛近海で獲れる魚を活用した加工品の生産体制充実や販売促進に取り組むことで、宿毛産の魚のブランド化を推進し、漁業者所得の向上を図る。 | ・(株)沖の島水産 | <p>取り組み期間：H24～R元</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産振補助金(ステップアップ事業)を活用した冷凍施設整備、パッケージデザイン制作、販売促進の実施(H23) ・産振補助金を活用した加工施設整備(H25) ・系列飲食店の新規開店(H28) ・加工場増設(H29) ・ホームページのリニューアル(H30) <p>◆売上高 800万円(H22)→5.7億円(H30)</p> |